

平成29年度 学校だより



平成30年2月14日(水)
御前崎市立第一小学校

学校教育目標

花いっぱい 自分 友だち 御一小

No.10

E-mail:

onichi@ed.city.omaezaki.shizuoka.jp

風が吹けば…

2月に入り立春も過ぎたとはいえ、冷たい北風がピープーと吹いています。そんな強い風の日思い出すことわざがあります。風が吹けば桶屋が儲かる（かぜがふけばおけやがもうかる）です。これは、ある出来事が起こることにより、一見すると全く関係がないと思われるところや出来事につながっているということです。つまり、以下のようにつながるのです。

1. 大風で土ぼこりが立つ
2. 土ぼこりが目に入って、盲人が増える
3. 盲人は三味線を買う（当時は盲人が就ける職であった）
4. 三味線に使う猫皮が必要になり、ネコが殺される
5. ネコが減ればネズミが増える
6. ネズミは桶をかじる
7. 桶の需要が増えて桶屋が儲かる



と言った具合なのです。

このようなことが日常生活の中でもよく起こっています。でも、意識していないと通り過ぎてしまったり、知らないで終わってしまったりします。

例えば、現代でもこんなことがあります。「エルニーニョ現象が起こると、豆腐・味噌の価格があがる」です。この現象が起こるや否や、アンチョビ（かたくち鰯）が不漁になり、肥料に使われるかたくち鰯が変わって、大豆・トウモロコシが肥料・飼料に向けられて、大豆が品不足になり価格があがる。大豆をアメリカからの輸入に頼っている日本の味噌・醤油は、価格を上げざるを得なくなるという理屈です。

何気ない1つの現象や出来事・行動・言動が全く関係がないと思われるものと結びつくことがあるということです。中国で一人っ子政策が廃止された時は、日本の粉ミルクや紙おむつを製造する会社の株価が上昇したのです。世界は一見関係ないように思われることでも、必ずどこかで繋がっているということなのです。

だから、私たちの送っている生活の中の出来事や行動・言動が、一見関係のないと思われることと繋がっているということなのです。これは子育てにも言えることなんです。長い間家庭の中で、同じ出来事や行動・言動が繰り返され、時間をかけているうちに一見関係ないと思われる子どもの行動や言動となって表れているのです。どうして家の子はと思うならば、一見関係のないようないつもの出来事・行動・言動から変えてみてはどうでしょうか。きっと見えない糸で繋がっているのだと思います。子どもたちの笑顔が増えれば、見えない糸が繋がったのだと思います。



(文責：竹原一人)